

No.	026	—	1001	事務事業名	J r. リーダー育成講座事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策	(4) 青少年団体、リーダーの育成				
	事業の対象	東温市内の中学生				根拠法令							
	事業の目的	最終的	新しい時代を切り拓く積極的な心を育て、次代の指導者として育成します。			今年度	体験学習を通し、生き抜く力を習得し、仲間や地域の人々との連帯感を深め、一人一人の自己教育力の確立を目指します。						
	活動内容	①	6月7日(日) 開講式(東温消防署にて一般救命講習)			④	12月19日(土) 冬季事業(久万スキーランドでのスキー・スノーボード体験)						
		②	7月11日(土) 野外料理教室(なめがわ清流の森)			⑤	2月27日(土) 閉講式(お菓子作り)						
		③	8月19・20日(水・木) 野外体験キャンプ(松山市中島大串キャンプ場)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		講座参加者数		参加者の実数		人	目標 30	30	30	30			
					実績 21	23							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	216 千円	220 千円	441 千円								
	計(A)	216 千円	220 千円	441 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.166 人	1,004 千円	0.166 人	1,012 千円	0.166 人	998 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,220 千円	1,232 千円	1,439 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	学校の枠を超えた中学生対象の年間講座は、県内の他の市町ではあまり事例がありません。学校ではできない体験をすることは、青少年の成長に必要です。また、次世代のリーダーを育成する上で必要と考えます。												
有効性	事業を実施し他校の生徒との交流を通して協調性、自主性を身につけるのに有効です。また、さまざまな体験から生きる力を養います。講座内容は、いろいろな経験が出来るよう毎年見直していきます。												
達成度	年により参加者の人数は増減しますが、ほぼ達成しています。												
効率性	なるべく予算をかけない方法で実施しておりますが、体験の楽しさを感じられる事業を効果的に実施していきます。												
当面の課題	レクリエーション的な内容になりがちであることから、社会の変化とともに事業を見直す必要があります。												
改 革 画	アンケートやインターネット等による情報収集力の強化、担当職員のスキルアップのため、研修等に積極的に参加します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	この事業は、レクリエーション活動や野外活動を通して、地域のリーダーの役割を担うために必要な知識や技能の習得を目的としており、今後も継続していく必要があります。今後は、プログラムに学校や地域との連携による活動を組み入れ、よりステップアップしたリーダーの育成を図ることが必要と思われます。												

No.	026	—	1006	事務事業名	わんぱく広場事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策					
	事業の対象	東温市内に在住している小学4年から6年生の児童				根拠法令							
	事業の目的	最終的	体験活動を通じて、地域の自然・文化を再認識させ、仲間意識・連帯感の高揚を図り、子どもに生きる力・創造力・健全な心身を養うことを目的とします。			今年度	体験活動を通じて仲間と協力し、自ら行動する力を養います。						
	活動内容	①	5月18日(日)開講式・皿ヶ嶺登山			④	11月15日(土)氷の上で遊ぼう!(イヨテツスポーツセンター)						
		②	7月13日(日)牛乳・乳製品について学ぼう!(野村農業公園「ほわいとファーム」)			⑤	2月21日(土)フットサル大会・閉講式(ジョイグリーン)						
		③	8月20日(水)~21日(木)夏季教育キャンプ(滑川野外活動研修施設)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		講座参加募集数		講座参加数		#REF!	目標 50	50	50	50			
アンケート満足度		満足度5段階評価(5点満点)5及び4採点者数/参加人数		%	目標 100	100	100	100					
					実績 54	76							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	234千円	176千円	363千円								
	計(A)	234千円	176千円	363千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.161人	981千円	0.161人	968千円	0.161人	970千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		1,215千円	1,144千円	1,333千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	実施方法は、各市町で違いはありますが、ほとんどの市町で独自に実施されております。また、学校で行う活動には限界があるため、活動を補い、学校ではできない体験をさせることは必要です。												
有効性	学校ではできない講座内容を考えて実施しております。また講座を通して他校の児童との交流や協調性、自主性を身につけるのに有効です。												
達成度	次年度も続けて講座に参加してくれる児童もおり、また少子化で児童数が減少しているにもかかわらず、参加数もほぼ毎年一緒となっているため、概ね達成できています。												
効率性	なるべく予算をかけないように考えて実施しておりますが、ボランティア制度等を利用し、さらなる効率性を検討する必要があると考えます。												
当面の課題	児童の健全育成を推進できるよう、体験型の講座を充実させ、より良いものを提供できるように検討する必要があると考えます。												
改 革 画	他市町の実施内容等の情報を収集し、改善を検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	より効率的・効果的な事業展開を図りながら、子どもたちが将来にわたって活かせるような自主性と協調性を身につけられるようなメニューを多く取り入れてください。												

No.	026	—	1011	事務事業名	文化協会育成事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	4 芸術・文化の振興	主要施策	(1) 芸術・文化団体、指導者の育成						
	事業の対象	東温市文化協会				根拠法令							
	事業の目的	最終的	地域文化の向上を図ります。			今年度	文化振興活動を補助します。						
	活動内容	①	東温市民大学の開催			④	各団体への活動助成金の交付						
		②	東温市文化祭(重信会場・川内会場)の開催			⑤							
		③	各団体による文化振興活動										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		団体数	組織規模の維持・拡大		団体	目標	77	77	77				
				実績	73	69							
会員数		組織規模の維持・拡大		人	目標	1,400	1,400	1,400					
					実績	1,111	996						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,710 千円	1,710 千円	1,710 千円								
	計(A)	1,710 千円	1,710 千円	1,710 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.058 人	353 千円	0.058 人	349 千円	0.058 人	349 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		2,063 千円	2,059 千円	2,059 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	東温市民大学の委託運営や東温市文化祭の主催も担っており、地域文化の向上を図る上で、文化協会の運営の補助は必要です。												
有効性	東温市民大学、東温市文化祭共に盛況であり、文化協会の活動は、地域文化の向上を図る上で有効です。												
達成度	会員の高齢化が進み、加入者よりも脱会、会員減少のペースの方が早くなっており、減少を抑える効果に留まっています。												
効率性	団体の規模に対して効率的な補助金額となっています。												
当面の課題	会員の高齢化と減少により、役員の負担が増大傾向にあり、長期的に見ると東温市文化祭など文化協会主催の事業の継続に対して懸念があります。団体ごとの活動拠点となる公民館が旧町時代の区分で別れているため、ひとつの団体としては十分に活動出来てはいない状況です。												
改革計画	団体及び文化事業の存続のため、引き続き支援を続けます。東温市文化祭等で、両公民館で活動する団体が共同して事業を成すよう指導します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	文化協会や各種団体が、活動しやすい環境づくりを支援し、また、市民参加型の文化活動の活性化を図る必要があります。												

No.	026	—	1012	事務事業名	婦人会育成事業	細事務事業名		公的関与	9				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	1 生涯学習社会の確立	主要施策	(6)関係団体等の育成						
	事業の対象	東温市内の婦人会会員				根拠法令	社会教育法						
	事業の目的	最終的	婦人の資質向上と相互の交流融和を図るとともに、知性と地位の向上に努め、明るい家庭づくり及び地域社会の発展に寄与します。			今年度	婦人会の各支部活動に対して運営補助を行います。						
	活動内容	①	婦人の教養・地位・文化を高める事業を実施します。			④	青少年の健全育成、社会環境や社会福祉の増進に関する事業を実施します。						
		②	家庭生活の向上と健康の増進に関する事業を実施します。			⑤	各地域・支部婦人会に活動費を交付します。						
		③	婦人相互の交流・親睦を図る事業を実施します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		婦人会支部数		組織・規模の維持・拡大		支部数	目標 11	12	12	12			
婦人会会員数		組織・規模の維持・拡大		人	目標 200	200	200	200					
					実績 11	12							
					実績 219	221							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	737 千円	737 千円	804 千円								
	計(A)	737 千円	737 千円	804 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.099 人	603 千円	0.099 人	595 千円	0.099 人	596 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,340 千円	1,332 千円	1,400 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	家庭と地域社会の結びつきが希薄化してきている中で、夢と希望のもてる地域社会づくりを目指し活動する婦人会の組織は必要です。												
有効性	有意義な婦人会活動を実施するため、文化部・青少年部・社会環境部・保健体育部・福祉部の専門部を設け、地域の人々が結びつきを深めながら楽しく生活できる社会の実現に取り組んでいます。												
達成度	婦人会員の高齢化が進み、全員参加での活動は困難となっていますが、青少年の健全育成や社会福祉の増進、社会環境整備など意欲的に取り組み、地域社会の発展に成果をあげています。												
効率性	市や県からの補助金や委託金を有効に活用しながら、地域や各支部で円滑に婦人会活動が行われています。												
当面の課題	婦人会員の高齢化が進んでいるため、若い年代の人が積極的に参加できるような呼びかけや取り組みが必要です。												
改訂計画	地域での活動や交流の機会を通して若い人に婦人会の魅力を伝え、活動の参加を呼びかけていきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	社会教育活動に関する事業の効果を検証するとともに、若い女性(乳幼児等の母親)向けの教室の開催など事業内容の検討を行なってください。												